

# IMJ NEWS LETTER

発行: 一般社団法人 日本統合医療学会 本部 〒113-0023 東京都文京区向丘1-6-2 Email : [info@imj.or.jp](mailto:info@imj.or.jp) FAX : 03-3812-5167

## 渥美理事長が「愛知県公衆衛生研究会」で講演



去る、平成24年1月20日(金)に“あいち健康プラザ”において愛知県、市町村、医療機関、大学等で公衆衛生に従事される関係者344名が参加し開催された「愛知県公衆衛生研究会」で「統合医療について」と題する講演を行いました。

この講演は大村愛知県知事から直接要請を受けて実現したもので、統合医療の歴史的背景から始まり、今後、「医療」が目指すべき形として“統合医療による安心・安全な健康社会の展開”について述べました。

当初、予定されていた参加者の倍以上の希望者が殺到し、愛知県の担当者は会場のセッティング変更等、随分ご苦労されたようです。

また、講演終了後の質疑応答も活発で、多くの質問が寄せられ、講演終了後に回収されたアンケートの内容も統合医療の可能性に期待するものが大半を占めていました。この事からも、正しい統合医療の知識を『必要とする方々』にお届けするこのできる今回のような取り組みを今後は積極的に展開していきたいと考えております。



### ※以下は渥美理事長のスライドから抜粋

『今、私たちが生きている「現代社会」は不安定、不透明で先が見えない時代と言われている。この現象は経済、政治、外交を始め、あらゆる面において、日本だけではなく、まさに世界各国が共有する宿痾（しゆくあ：病気）であるとさえいえ、その結果、人間社会は不安と不信の中で未来への希望と夢を失いつつある。



これは、東西の文明が衝突し、相互の信頼感が揺れ動き、この状況を打開するための新しい『文明』を模索しているからであり、医療の分野においても東西の医療は融合を求めており、これが『統合医療』が期待される根源的理由にもなっている。

さらに人類の地球資源を消費し尽くそうとするライフスタイルは重大な環境問題を引き起こし、医療資源ですら無限ではないという当たり前の現実を改めて思い知らされた。

そして今、『統合医療』＝『エコ医療』が求められている。

また、先端のゲノム（遺伝子）医学と再生医学の発展が、既存の医学の「治療の医学」から「予防の医学」、更には「健康の医学」への転換を要請している。

つまり、「歴史的背景」「有限な医療資源」「医療の進歩」といった複合的な要因によって『統合医療』の出現は必然的な使命として期待されているのであり、何人といえどもこの流れを止めることは出来ない。

『統合医療』は患者中心の医療であり、身体のみならず精神、社会を含めた「全人的医療」である。「治療」のみならず「疾病の予防」、「健康増進の方法」と位置付けられ、近代西洋医学を軸として、漢方、鍼灸、アーユルヴェーダ、ヨーガ、ユナニなどの伝統医学や健康食品、芸術療法、音楽療法、アロマセラピーなど、広範な分野の相補・代替医療を含んでいる。

この動きは1990年代のアメリカで始まり、様々な相補・代替医療が注目を浴びる中、公的機関で研究、調査が活発に行われるようになった。1992年「米国国立衛生研究所

(NIH)」に「代替医療事務局 (OAM)」が設立され、更に、1998年に「相補・代替医療センター (NCCAM)」へ発展的に改組され、2011年には約9500億円の国家予算（※NIH全体では約2兆8500億円となり、日本国家が相補・代替医療の研究に計上する約10億円の2850倍となる）を使って相補・代替医療 (CAM) の研究が進められている。実際にハーバード大学を始めとする有名大学の多くでも『統合医療』の考え方を取り入れた講義が行われて

おり、人材の育成に多くの力が注がれている。その後、この医学界の趨勢はヨーロッパやアジアにも広がり、既に数多くの国々が国策として『統合医療』を推進している。この現実を鑑みても、日本は世界に大きく水をあけられているといわざるをえない。

昨年3月11日に発生した東日本大震災は日本人の価値観を大きく変え、これに伴って、医療の在りも大きく変わったといえる。

日本人は人知を遥かに超えた巨大な自然の力を思い知らされ、ややもすれば現代人が忘れがちな「人間と自然との共存」の大切さといった、当たり前のことを再認識させられた。

然るに、医療分野でも、既存の「治療の医療」のみでなく、「予防医学」や「エコ医療」、更には「セルフケア」の重要性がクローズアップされるようになった。

このような背景を踏まえて、『統合医療』を用いた「地域の健康増進戦略」の構築と「新しい医療」を育てるための行政が主体となった積極的展開が求められている。

今後、先に掲げた大義の下、愛知県の伝統文化や地域資源といった、地域の特色を活かした独自の『統合医療』が展開され、県民の安心・安全と健康の発展が推進されることを期待して止まない。

※「エコ医療」とは

エコロジカル（環境に優しい）でエコノミカル（経済的）でエシカル（倫理的）な医療。東日本大震災発生直後から数週間に亘って、ライフラインが絶たれた状態の被災地では既存の医療の提供が困難であったため、過度にエネルギーに依存しない「持続可能な医療」が求められた。』

【文責：(社)日本統合医療学会事務局】